

令和元年5月10日

各位

会社名 マーチャント・バンカーズ株式会社
 代表取締役社長兼 CEO 一木 茂
 (コード3121 東証2部)
 問合せ先 取締役 CFO 兼財務経理部長 高崎 正年
 (TEL 03-5224-4900)

平成31年3月期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、平成30年11月9日に公表しました平成31年3月期の通期連結業績予想数値と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりご報告申し上げます。

記

1. 平成31年3月期連結業績予想数値と実績値との差異 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	売上高 百万円	営業利益 百万円	経常利益 百万円	親会社株主に帰属 する当期純利益 百万円	1株当たり 当期純利益 円 銭
前回発表予想(A)	2,500	420	270	500	17円93銭
今回修正予想(B)	1,935	103	△4	282	10円14銭
増減額(B-A)	△564	△316	△274	△217	
増減率	△22.6%	△75.3%	△101.5%	△43.5%	
(ご参考)前期実績 (平成30年3月期)	1,794	△29	△156	△134	△4円93銭

2. 差異の理由

当社は、平成29年7月18日付「今後の事業展開のお知らせ」にてご報告させて頂きましたとおり、上場70周年を迎える平成31年3月期、営業利益500百万円体制の構築を目標に、積極的な収益用不動産取得を進めてまいりました。この結果、**平成31年3月期は、平成30年3月期に対しまして、売上高141百万円、営業利益133百万円、経常利益152百万円、親会社株主に帰属する当期純利益417百万円、それぞれ増加した結果、増収増益**となり、大きく収益構造が改善いたしました。

しかしながら、前年同期は、7物件、4,268百万円の賃貸用不動産を取得いたしましたのに対し、平成31年3月期は、取得の条件に見合う物件が減少し、4物件、1,569百万円の取得に止まり、賃貸用不動産から得られる賃料収入として、660百万円を見込んでおりましたが、601百万円にとどまりました。

また、賃貸用不動産収入やホテル等の施設運営による収益といった既存事業の安定的収益以外に、収益の多様化をはかり、投資有価証券売却による315百万円の特別利益や、投資案件や子会社MBKブロックチェーン株式会社のアドバイザー収入(16百万円)といった新たな収益を確保することができましたものの、見込みの500百万円には至らず、以上により、売上高・各段階利益とも、業績予想に至らなかったものであります。

平成31年3月期の業績につきまして、株主様や投資家様をはじめとする関係者の皆様に、多大なるご迷惑とご心配おかけいたしますこと、深くお詫び申し上げます。

以上